

(第3回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 4年 9月 27日
契約業者名	(一財) 阪神高速先進技術研究所
契約業者の住所	
業務の名称	阪神高速道路構造物の建設および維持管理に関する調査研究業務 (2021年度)
業務場所	
業務種別	土木設計
業務概要	水浸ホイールトラッキング試験1 式→ 1 式 粗骨材の剥離抵抗性試験1 式→ 1 式 打合せ・資料作成1 式→ 1 式 鋼橋疲労設計法の高度化検討1 式→ 1 式 接着剤を用いた当て板補修に用いる設計法の検討1 式→ 1 式 鋼管集成橋脚の性能評価に関する検討1 式→ 1 式 コンクリート構造物の研究および検討項目に係る市場調査整理1 式→ 1 式 ASRフーチングの耐荷力評価に関する検討1 式→ 1 式 舗装の損傷分析に基づく補修設計高度化検討1 式→ 1 式 トンネル函体目地部の連続鉄筋コンクリート舗装におけるひび割れに関する検討1 式→ 1 式 アスファルト混合物の剥離抵抗性に関する検討1 式→ 1 式 報告書作成1 式→ 1 式
業務期間(自)	令和 3年 10月 20日
業務期間(至)	令和 4年 11月 30日
契約金額	62,216,000 円
変更金額	2,585,000 円 増
変更後の契約金額	64,801,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路構造物の建設および維持管理に関する調査研究業務（2021年度） 第3回変更

第3章 業務内容

3. 2 業務内容

3. 2. 2 鋼橋疲労設計法の高度化検討

業務計画書において、一部文章に誤記があったため、記述の訂正を行う。

3. 2. 8 トンネル函体目地部の連続鉄筋コンクリート舗装におけるひび割れに関する検討

【変更】

当初の計画通りに解析を行ったところ、連続鉄筋コンクリート舗装に生じるひび割れ箇所の変位量やひずみの値は実際の計測値より小さく、この要因として解析モデルで路盤材料を考慮していないことが考えられた。そこで、より精度よく解析を実施し、結果を考察するために、当初のモデルに路盤モデルを追加することで、解析モデルを見直し、大和川線で採用した補強鉄筋を配置した解析ケース（2ケース）と補強鉄筋を設置しない解析ケース（1ケース）を追加する。

【数量】（変更前）→（変更後）

解析の実施 3ケース → 6ケース

第5章 業務期間

トンネル函体目地部の連続鉄筋コンクリート舗装におけるひび割れに関する検討において、追加で解析を行う必要が生じたことに伴い、業務期間を下記のとおり2ヶ月延期する。

（元設計）（自）2021年10月20日（至）2022年9月30日

（変更設計）（自）2021年10月20日（至）2022年11月30日

以上